

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ—372—

2018.11.12

◎展覧会情報—「櫛とかんざしの物語」展

吉田明泰さんより

先日、案内いただいた「玉」展を見た後、同じ沿線、本八幡で開催されている「櫛とかんざしの物語」展に行ってきました。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/1111000272.html>

期間：平成 30 年 11 月 3 日（土・祝）～平成 31 年 2 月 3 日（日）

会場：市川市文学ミュージアム

観覧料：一般 500 円

小規模ながら、テーマごとに丁寧な説明が施された展示会で、飾り部分が動く仕掛けかんざしのコーナーには、現物の展示の他、現物が動く様子の動画作られ、上映されていました。

市川市文学館での展示とあって、古典から近代の文学との関連させた説明も充実していましたし、展示の最後は、市川の実業家一族に伝わるフランス製「アールデコ宝飾鼈甲洋ざし」（オリジナルの箱入り）で終わるという、地域性にも配慮された、良い展示会でした。

難点は、会場が駅から遠いこと。

ホームページに記載のある無料バスに乗って行くと、今度は、終点のショッピングモールの人が、市川文学館の所在地を知りません。

市川文学館は、図書館と同じ建物内にあるので、もし無料バスを使われた際には、ショッピングモールで、「図書館はどこですか？」と聞いた方が良さそうです。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>